

イベントのご案内 ※詳細は公園ホームページをご覧ください。

12月 - 師走(しわす) -

4* 25*	水景園のいけばな教室 ●13:30-16:00 ●場所:ビジターセンター 研修室 ●対象:大人 ●料金:3,000円 ●要予約(注1)電話受付/開催週の月曜日まで ※12月25日は正月花(料金は要問合せ)
7日	けいはんな子ども天文クラブ観望会 冬の星座と星団、星雲 ●18:00-20:00 ●場所:芝生広場西入口付近 ●料金:無料 ●雨天・曇天:中止 ※共催:けいはんな科学共育デザインラボ ※問合せ: https://www.facebook.com/AstroClubKeihanna/
13土	芽ぶきの森でリース作り(2回連続講座/募集終了) ●10:00-12:00 ●場所:ビジターセンター 地階 ●料金:1,000円/2回 ●雨天:開催 ●対象:小中学生 ※小2以下保護者同伴
20土	花いっぱい大作戦の会 ～花壇のメンテナンス～ ●10:00-12:00 ●場所:遊具広場横花壇 ●料金:無料 ●雨天:要問合せ ●対象:未就学児は保護者同伴
20土	華あそび・いけばな教室 ●14:00-15:30 ●場所:水景園 観月楼研修室 ●料金:3,700円 ●要予約(注1)メール受付/開催2週間前まで
20土 12月	〈公募展〉こども・親子図画作品展 ●9:00-17:00(12/28(日)～1/4(日)は休園) ●場所:ビジターセンター 地階 ●料金:無料
25*	公園のクリスマス ～森で丸鶏のローストチキンづくり～ ●13:00-15:00 ●場所:水景園 受付前集合 ●雨天:中止 ●料金:4,000円/1組(4人まで) 定員:15組 ●要予約(注1)/WEB申込抽選制(受付は11/30(日)まで、当選発表12/3(火))
27土	みんなでいけばな～お正月をいけよう!～ ●14:00-15:30 ●場所:ビジターセンター 地階 ●料金:1,000円(花材・花器費込) 要予約(注1)/12/23(火)まで

予約先(注1) 「けいはんな記念公園管理事務所」 tel.0774-93-1200 メール:info@keihanna-park.jp WEB申込み:公園HPまで

12月～3月まで工事のため観月橋はお渡しいただけません。予めご了承ください。

12月28日(日)～1月4日(日)は年末年始の休園です。

2月17日(火)～19日(水)、23日(月・祝)～25日(水)は工事で停電となるため、臨時休園です。詳しくは公園HPまたはお電話でご確認ください。



さが なか も めん でん しょう かん
相楽木綿伝承館

明治初期から昭和10年代にかけて、現在の木津川市相楽を中心に生産された相楽木綿の展示や機織の実演などをご覧ください。

■場所: 水景園 観月楼

■開館日: 日月木金

■開館時間: 10:00～17:00

機織体験もできます(要予約)
【問合せ】080-6186-9233
※12/20(土)～2月末まで 冬季休館です

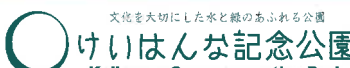


「ながたん」は公園にある「永谷池」の地元の呼び名です。
メニュー: コーヒー・ジュース(リンゴ/オレンジ)

水景園観月楼1階 提供: 精華町ふるさと案内人の会

森のカフェ Nagatan

※水景園観月楼一階 ※営業日はHPでご確認ください



文化を大切にしたい水と緑のあふれる公園
けいはんな記念公園
Keihanna Commemorative Park

【入園料】

一般(～64歳)	220円
小・中学生 65歳以上	110円

【営業時間】

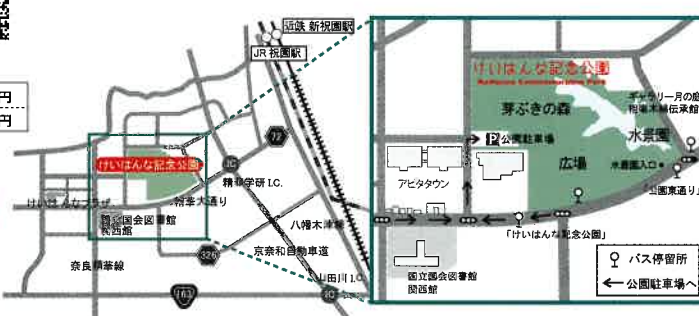
開 園	9:00
閉 園	17:00

【駐車場】

料 金	大型車 1700円
	普通車 500円

【アクセス】JR祝園駅、近鉄新祝園駅より路線バス約9分
詳しくはHPをご覧ください! ▶<https://keihanna-park.net/>

【お問合せ】けいはんな記念公園管理事務所
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台六丁目1番地
Tel 0774-93-1200 Fax 0774-93-2688



1月 - 睦月(むつき) -

6*	人日の節句 ～七草まじゅうのふるまいと折り紙あそび～ ●13:00-15:00 ●場所:ビジターセンター 地階 ●料金:無料 ※七草まじゅうのふるまいは先着50名(大人も対象)
7*	華あそび・いけばな教室 ●14:00-15:30 ●場所:水景園 観月楼研修室 ●料金:3,700円 ●要予約(注1)メール受付/開催2週間前まで
15*	水景園のいけばな教室 ●13:30-16:00 ●場所:ビジターセンター 研修室 ●対象:大人 ●料金:3,000円 ●要予約(注1)電話受付/開催週の月曜日まで
17土	花いっぱい大作戦の会 ～花壇のメンテナンス～ ●10:00-12:00 ●場所:遊具広場横花壇 ●料金:無料 ●雨天:要問合せ ●対象:未就学児は保護者同伴
17土 18日 1/31土 2/1日	たき火で焼き芋を焼こう ●13:00-16:00 ●場所:水景園 受付前集合 ●小雨決行、 雨天時:17・18分は1/24(土)・25(日)、31・2/1分は2/7(土)・8(日)に延期 ●料金:600円(1人焼き芋1本) ●定員:各回70名 ●要予約(注1)/12/13(土)～WEB申込先着制

毎年恒例の「公園の写真展」は観月橋工事のため、開催を見送りました。予めご了承ください。

けいはんな記念公園 サポーターズ パスポート

窓口にて申込受付中!



水景園・芽ぶきの森に1年間いつでも
ご入園いただけるパスポート。
何度もご来園いただくことが公園・森
のサポートにつながります。

けいはんな記念公園



Keihanna Commemorative Park
Special Thanks 30th
地域の自然と文化に親しめる場所づくりをこれからも

12・1月のお便り

発行日 2025年11月15日

発行元・編集:けいはんな記念公園 指定管理者 植彌加藤造園株式会社
けいはんな記念公園ニュースレター vol.125



12・1月号のテーマ 『冬至』

人日の節句 ～七草まんじゅうのふるまい～

伝統行事

2026年1月6日(火)
13:00～15:00 [ビジターセンター地階]

※ふるまいは予定数配布次第終了

1月7日は五節句の一つ、人日の節句の日。一般的には七草粥をいただく日ですが、公園では七草の入ったお饅頭を配り、季節の折り紙あそびをお楽しみいただきます。

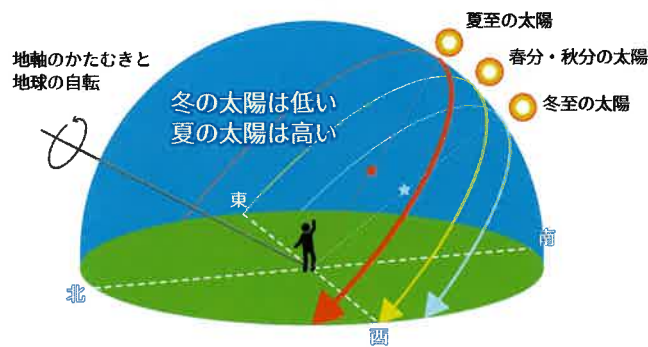


※折り紙はイメージです。

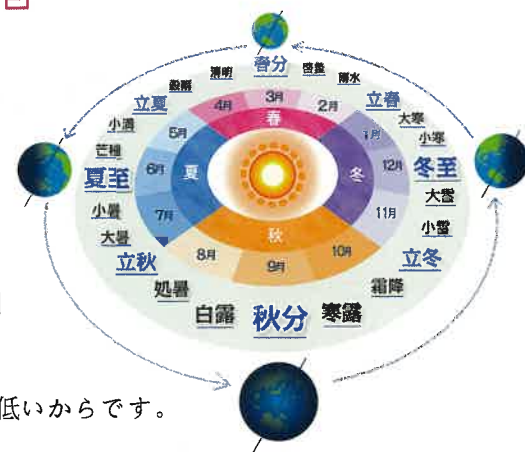
二十四節気の冬至(とうじ)は冬のちょうど真ん中あたりの時季で、人日の節句・節分と並んで季節が変わる節目を表します。冬至を超えると本格的に寒くなると言いますが、気候や昔の風習などから、冬越しにどんな対策や思いが込められているかを見てみましょう。

『冬至のいろいろ』

【冬至って?】今年は12/22が冬至です。一年でこの日は一番夜が長いことになります。冬至を境に日照時間＝お昼間の時間が少しずつ長くなり、これからどんどん寒くなっていくにもかかわらず、太陽の動きは春へと向かいます。昼と夜の長さは太陽の一番高い位置(南中高度)によって決まります。下図の赤い矢印が夏の太陽、水色が冬の太陽の動きです。南中高度とは太陽と地表の角度(★印の角度)のことで、夏の太陽は高く冬は低いことが分かります。そして地軸の傾きがあることで、季節によって日照時間や太陽の角度が変わり、四季の気候に影響しています。12月頃は右図「冬至」に地球があって、夜が最も長くなる位置関係になります。そして冬は窓辺からの光りがお部屋の奥まで届くのは、太陽の角度が低いからです。



祭になったという説もあります。木の幹を模したクリスマスケーキの「ブッシュ・ド・ノエル」もこれに由来するそうで、冬至とクリスマスは意外なところで関係があるようです。



【極夜とクリスマス】

冬は高緯度の地域は極端に昼の時間が短く、北緯66度33分以上の地域では冬至前後に1日中太陽が昇らない「極夜(きょくや)」という現象が起こります。北欧ではこの時期に「ユール」という祝祭を行うそうです。太陽が昇らない期間に「ユール・ログ」といわれる木の幹を燃やし、太陽の復活を祝う儀式を行っていたことが、後にキリスト教と結びつきクリスマスの祝



【一陽来復】日本を含むアジア地域では太陽が最も弱まる冬至を境に太陽が生まれ変わる、季節が折り返すことで「太陽の出る昼間が長くなる」と考えられていました。陰が再び陽に転ずる日「一陽来復(いちようらいふく)」といって、冬至を境に運氣が上がってくると言われています。他に、大晦日や節分にも一陽来復を願うそうです。

【冬至のならわし】日本の冬至は、五節句のように盛大な行事や祭事は行いませんが、季節の節目として、また体感的にどんどん寒さが増し冬本番に向かう、心身の負担が大きくなる時期ということで、静かに冬を迎える一つの節目としての様々な風習があります。皆様よくご存じの「ゆず湯」や「冬至かぼちゃ」などです。



神社の「一陽来復」イメージ



●ゆず湯

柚子(ゆず)＝「融通」がきく・冬至＝「湯治」という語呂合わせから、冬至の日にゆず湯に入ると言われています。もともとは、「運を呼び込む・厄払い」の禊(みそぎ)から来ているようで、一陽来復のために身を清めるということのようです。冬が旬の柚子は香りも強く、香気の強いところには邪気がおこらないという考え

もありました。江戸時代の銭湯で「催し湯」のひとつでお湯に柚子を入れたのが始まりだとも言われています。また、柚子は実るまでに4年前後と長い年月がかかるので、長年の苦勞が実りますようにという願いも込められています。そしてゆず湯には血行促進・冷え性緩和・風邪予防のほか、芳香によるリラックス効果もあり、元気に冬を越すためにも効果的とされています。

●かぼちゃ

夏の収穫を冬に食べる、というのは栄養の観点からです。消化の良いでんぷん、ビタミン・ミネラル・カルシウム・食物繊維がとてもバランスよく摂取できるので、昔から保存がきくかぼちゃは「風邪予防」に効くとされてきました。収穫後の追熟で甘くなり、冬至の頃には一層美味しくなります。また、かぼちゃは別名「南瓜(なんきん)」と書きます。冬至は陰が陽に転ずる日、陰(北)から陽(南)へ向かうことを意味しており、冬至にふさわしい食べものとされてきたようです。



●「ん」のつくもの

かぼちゃ＝なんきん、もそうですが、冬至には「ん」のつくものを食べるとよい、と言われています。「運(うん)」を呼び込むという説や、いろは歌の最後「ん」のように、ひとつ区切りをつけて開運を願うということのようです。

- ・なんきん：南京(かぼちゃ)
- ・れんこん：蓮根
- ・にんじん：人参
- ・ぎんなん：銀杏
- ・きんかん：金柑
- ・かんてん：寒天
- ・うどん：饅頭(うどん)



いずれも「ん」が重なる＝「運」が倍増すると考えられ、この7種は「冬至の七種(ななくさ/七草とも)」と呼ばれます。春の七草、秋の七草はよく聞きますが、冬至にも七草があるんですね。

今ほど食べ物豊富ではなかった時代、人は自然と向き合って暮らしていました。太陽の恵みで農作物が実るので、節目の行事を大切に、冬季に弱まった太陽の蘇りと豊作を祈り、限られた食材の中や習慣に健康を維持する知恵を見つけてきたのでしょう。

現代の私達も「寒い」と思うだけでなく自然や季節の食べ物を楽しみつつ、元気に年末年始の忙しさを乗り切りたいものです。

おすすめイベント

公園のクリスマス
～森で丸鶏のローストチキンづくり～

自然体験

【申込抽選制】

日時 12月25日(木) 13:00～15:00
水景園芽ぶきの森

丸鶏をたき火とダッチオーブンで焼いておいしいローストチキンを作りましょう。

※4,000円(1組/4人まで)
※WEB申込抽選制・11/30締切



おすすめイベント

みんなでいけばな ～お正月をいけよう～

アート体験

【申込制】

日時 12月27日(土) 14:00～15:30
ビジターセンター地階

みんなで楽しめるいけばな教室です。華道の難しい約束事は一切なし。他ではできない貴重な和文文化体験でお正月を飾りましょう。
※受付は12/23まで、先着20名まで



おすすめイベント

<公募展> こども・親子図画工作展

アート

日時 12月20日(土)～1月12日(月・祝)
9:00～17:00 ※12/28～1/4は休園
ビジターセンター地階

こども・親子で作った図画工作を公募展示します。こどもならではの自由な発想で生まれた作品展示をご覧ください。
※12/14まで応募受付中、詳細は公園HPにて。



おすすめイベント

たき火で焼き芋を焼こう

自然体験

【申込制】

日時 1月17・18日(土・日)、1月31・2月1日(土・日)
※小雨決行、雨天時1/24・25、2/7・8にそれぞれ延期
13:00～16:00

自分たちで火を熾して、おいしい焼き芋を作りましょう。

・600円(人/焼き芋1本)
・各回定員70人
・予約申込12/13(土)～WEB受付、先着順
※詳細はHPをご確認ください。

